



4輪  
ガソリン

# 初挑戦の篠塚が優勝

第20回アジアクロス  
カントリーラリー(A  
XCR)2015  
レ  
グ6 14日 プレー  
チェンマイ(タイ)  
ベン&カメラ古賀  
敬介

20回の記念大会に多くの日本人選手が参加し、6日間、約2500kmの戦いに挑んだ。

4輪は初挑戦の篠塚建次郎組(スキ・ジムニー)が2位に入り、ガソリンクラスを制覇、伊藤芳朗組(いすゞD-MAX)が4位、塙郁夫組(トヨタFJクルーザー)が8位。三菱アウトランダーPHEVの青木孝次組は総合20位も3年連続で電気自動車クラスV。地元タイの又たポン・アングリットハノン組(いすゞD-MAX)が総合優勝し、2輪は池町佳生(ガスガス)が制覇した。

## 66歳円熟の走り

2012年のラリーモンゴリア以来の実戦だった篠塚だが、ブランクと66歳という年齢を感じさせない走りを披露した。マシンは1・6ℓエンジン搭載するジムニー。ジャングルを抜ける狭く



タイのラリーロードを快適に乗り切ったジムニー  
◎治道の応援も力になったと喜ぶ篠塚

て曲がりくねった道が多く、軽量コンパクトな車両は合っていたが、大ベテランの熟練した走りとEJ千葉のグッドナビゲーションがなければ、総合2位という結果は不可能だった。

ゴールのチェンマイに戻った車両の多くが大きなダメージを受けているが、篠塚のジムニーはスタート前のようなきれいな走り。水没などでエンジンのスターターが壊れるトラブルに遭遇したが、悪路にもかかわらず大ベテランが安定した走りを持証した。

「タイに来たのは昔ラリーで走った時以来。それなのに私のことを覚えていてくれる人も多く、声をかけてくれた。うれしいよね。楽しく毎日過ごせた。いやいや本当に楽しかった」。1990年に優勝したアジア・パシフィック・ラリー以来のタイだったが、四半世紀前の快挙を覚えている人も多く、6日間を気持ちよく走った。

### ◆アジアクロスカントリーラリー最終結果◆ (8月9~14日/レグ1~6)

| 4輪部門 |               |            |            |
|------|---------------|------------|------------|
| 順位   | ドライバー         | マシン        | タイム(差)     |
| 1    | N・アングリットハノン   | いすゞD-MAX   | 13時間56分22秒 |
| 2    | 篠塚建次郎         | スキ・ジムニー    | 1時間18分31秒  |
| 3    | R・トライラッド      | いすゞD-MAX   | 2時間46分00秒  |
| 4    | 伊藤芳朗          | いすゞD-MAX   | 3時間30分35秒  |
| 5    | B・ブッター-アングリット | 三菱パジェロ     | 3時間57分54秒  |
| 8    | 塙郁夫           | トヨタFJクルーザー | 4時間47分34秒  |
| 13   | 竹野悟史          | スキ・ジムニー    | 9時間37分01秒  |
| 14   | 浅井道浩          | いすゞD-MAX   | 10時間02分49秒 |
| 15   | 青野泰久          | スキ・エスクード   | 10時間24分47秒 |
| 17   | 青木拓磨          | いすゞMu-X    | 19時間36分42秒 |
| 19   | 西村文克          | スキ・ジムニー    | 25時間48分30秒 |
| 20   | 青木孝次          | 三菱アウトランダー  | 26時間05分29秒 |
| 21   | 飯島祐一          | いすゞD-MAX   | 27時間06分27秒 |
| 25   | 新井敏弘          | いすゞD-MAX   | 46時間39分34秒 |

※完走27台/出走28台